

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成29年1月27日

協議会名: 粟島浦村地域公共交通協議会

評価対象事業名: 離島航路運営費等補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
粟島汽船株式会社	粟島～岩船航路	魚介類の出荷時間への対応や、JRを利用して来島する観光客のため、鉄道との接続を考慮したダイヤとし、利便性向上を図った。	A 荒天等により運航できない日があったが、事業は概ね適切に実施された。	B H27.10～H28.9までの目標利用者数55,584人に対して50,603人(▲4,981)となった。 5月の大型連休中の荒天による欠航、直接の被害はないものの、夏期の北海道・東北を中心とした豪雨災害の影響で繁忙期の観光客が減少した。夏期に県の補助金を活用し実施した誘客イベントでは新規の家族層の発掘につながったが、減少分を補えなかった。	安定的な運航を維持するため、船員を確保し、育成に努める。新規の観光客獲得のため、関係者が一体となって船舶を活用したイベントや島内イベント等の実施・情報発信に取り組む。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成29年1月27日

協議会名:	粟島浦村地域公共交通協議会
評価対象事業名:	離島航路運営費等補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>粟島航路は、粟島と本土を結ぶ唯一の交通手段であり、極めて公共性が高く、村民の生活の安定と経済発展のためには不可欠な航路である。</p> <p>今後も島民の安心した生活と地域経済の発展を持続していくため、航路事業者だけでなく、国、新潟県、粟島浦村、周辺自治体などが総合的に連携・支援を行い、粟島航路の確保・維持・改善を図り、同事業による国の支援が必要である。</p>